

## アスベスト被害防止策を求める申入れ

石綿（アスベスト）による健康被害の実態が全国的に大きな問題となっています。

花粉より細かい石綿の粉塵を吸入するとガン的一种である悪性中皮腫や肺ガンなどを発症します。中皮腫の潜伏期間は40年前後と言われるとおりに「静かな時限爆弾」とも呼ばれます。

耐火・断熱性のある石綿はその九割が建材に使われており、中皮腫による死亡者は今後40年間で10万人に上るという予測もあります。

石綿による健康障害は早くから知られ、ガンとの関係も1950年台には知られていましたが、危険性がわかっていながら長期に使用を認め、被害を放置してきた政府の責任が厳しく問われています。

日本共産党広島市議団は1991年3月、県営長寿園アパート（3棟）及び市営基町アパート（1棟）の天井部分に石綿が使用されている事実を明らかにした上で、その被害防止策を求めてきましたが、石綿による健康障害がより明らかになった現在、一刻も早い対策をとられるよう左記の点を申し入れます。

### 記

一、県営長寿園アパート（3棟）以外の公共施設（住宅、学校等）でも石綿が使用されていないか、早急の実態調査を行い公表すること。

二、天井部に石綿が使用されている市営基町アパート（1棟）について

- ①全室のアスベスト濃度調査及び室内点検を行うこと。また健康被害についても適切な調査を行うこと。
- ②完全除去工事を急ぐと共に、各部屋の実態調査をもとに、「囲い込み」などの速やかな応急措置を講ずること。
- ③除去作業は、万全の飛散防止策をとって行うこと。
- ④国に対し、防護策に必要な経費の補助を求めること。
- ⑤県の対応策を文書にして関係住民に配布し、住民の不安を解消すること。また、地元の要望があれば説明会を行うこと。

2005年7月14日

日本共産党県会議員

辻 恒雄

日本共産党広島市会議員団団長

皆川恵史